

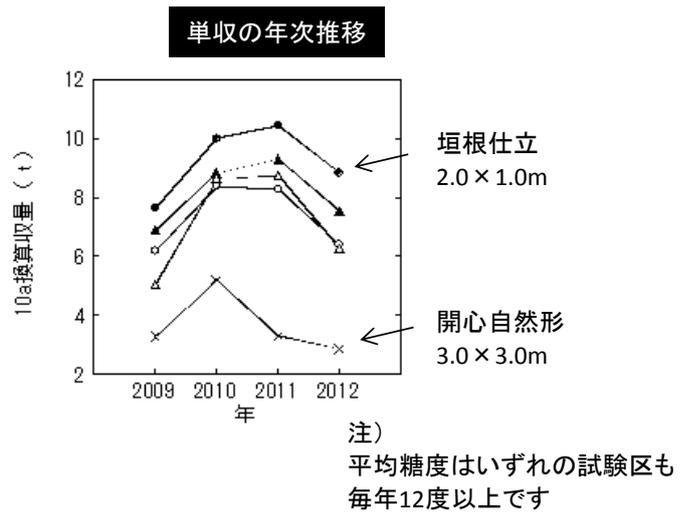
ハウスミカンの作業が楽で高収量となる新しい樹形

農業研究部果樹グループ

1. 研究の背景

従来の開心自然形による多収ハウスの特徴は、葉数が多く樹容積が大きい傾向のため、作業の軽労化と高収量が両立が困難です。そこで、単純で省力的な、高収量となる新しい樹形を開発しました。従来の5倍の植栽密度（10aあたり500本）で、自然形を意識した仕立てが特徴です。

2. 研究成果の内容・普及のポイント



3. 期待される効果

・ 樹形改善による単収向上（目標：超早期加温7t, 早期加温9t, 中後期加温10t）

4. 担当機関連絡先

農業研究部果樹グループ温州ミカンチーム
TEL：0978-72-0407
住所：国東市国東町小原4402